

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 55,932 人 入浴者 52,884 人 (市内 46,910 人、市外 3,858 人、マリン 416 人 他) 施設利用者 3,048 人 (会議室 290 人、ビラード 211 人、和室 2,547 人)
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取り組みを実施。

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	39,982 千円
	指定管理料	15,099 千円
	利用料金収入	23,784 千円
	その他の収入	1,099 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	41,877 千円
	主な支出 人件費	9,319 千円
	需用費	18,716 千円
	役務費	632 千円
	委託料	623 千円
	使用料及び賃借料	6,724 千円
	原材料費	5,154 千円
	負担金・公租公課	709 千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	<p>利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。また自主事業等実施の際にもアンケート調査を行い、今後の事業展開の参考としている。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・7月豪雨による温泉供給管の破損から休業を余儀なくされたことや、猛暑の影響により入浴者が減少したため、総利用者は減少したが、今年度から新たにめぐみ荘の温泉水を津山市中心部のホテルに供給販売する契約を締結するなど、新たな試みにも取り組んだ。 ・こどもの日や冬至、正月など季節に合わせた各種イベントを開催し、集客に努めた。また、継続的なイベントとして、毎月26日には風呂の日イベントを開催した。 ・円滑な施設の管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催し、事業計画等について助言や提案を受けた。 ・昨年度に引き続き、健康増進や介護予防を図るため、介護予防講座を計8回開催し、地域福祉の増進に努めた。 ・定期的な水質検査（レジオネラ菌等）と配管清掃等により、温泉の安全性を確保した。 ・加茂郷フルマラソン全国大会や連休等による利用者増加時には、給水車で臨時給水や整理券配布による入浴制限によって快適な利用環境を整備した。 ・収支については、光熱水費や下水道使用料等のランニングコストの割合が高いため赤字となっている。 <p>これらのことから、今年度は、概ね良好に業務を推進したものと評価するが、次年度ではさらに利用促進を図り、施設設置目的に沿いつつ、利用料の改定も含めて、収支改善に努める。</p>
(3) 市の評価	<p>設置目的である市民の健康の増進、交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取組み状況や、利用者の意見を積極的に取り入れ、ニーズに対応したイベントの実施・事業拡大について高く評価できる。また、地域の方々の意見等を反映する委員会を設置し、地域に根差した取組みについても評価できる。収支の面では赤字が続いているが、今後のさらなる運営改善により黒字に転換できるよう期待する。</p>